

2021年3月25日

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
理事長 後藤 滋樹 殿

2020年度DRP検討委員会  
委員長 井上 葵

### 2020年度DRP検討委員会の活動についての報告

#### 2020年度DRP検討委員会のチャーター

2019年度DRP検討委員会の活動を継続し、電子化の実装、シンポジウムの開催の検討を行う。さらにJPドメイン名紛争処理方針(JP-DRP)およびその手続規則の改定要否などの検討を行い、JPNICが必要な対応を実施するための提言を行う。

#### <2020年度検討委員会での活動報告>

- ① 今年度のDRP検討委員会では、2019年度DRP検討委員会が答申した、JP-DRP紛争処理方針および手続規則の改正を2020年10月1日に施行できるように対応しました。また、同日から導入された、手続の電子化に向けての対応を行いました。
- ② 今年度の検討としては、JPドメイン名紛争処理方針および手続規則の改正については、新たに実施を提言する項目はありませんでした。
- ③ 「JPドメイン名紛争処理方針(JP-DRP)」20周年記念シンポジウムの企画を行い、JPNIC、JIPACの共催での開催に向けての準備をするとともに、当日プログラムを実施しました。
- ④ パネリスト候補者研修を、JPNIC、JIPACの共催で、同年度内に初めて、2020年9月と2021年3月の2回開催することを提言し、特に2021年3月は、新たに事例研究をコンテンツとして開催することを提言、準備して実施しました。
- ⑤ 今年度検討を行い、継続検討事項となっている、公開代行サービスへの対応、ミニマル・アプローチへの対応、WIPOとの協力関係、英語によるJPドメイン名紛争処理手続については、引き続きDRP検討委員会において検討することを提言します。
- ⑥ また、今年度は、2回のパネリスト候補者研修が開催されましたが、来年度以降も複数回の開催実施について、コンテンツを工夫して実施することを提言します。

- ⑦ さらに、2020年10月に開始した、手続の電子化については、しかるべきタイミングで、レビューを行い、必要に応じて改善を検討することを提言します。

以上